

県政の動き

6月21日(土)～8月20日(水)

★は写真入りで紹介

6月6日(金)～7月21日(月)

錦江湾クリーンアップ作戦2008・夏の部

6月21日(土)

農大「マンガローフェア」

6月25日(水)

★「平成の名水百選」認定書交付式

6月26日(木)

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動における

「6・26ヤング街頭キャンペーン」

6月27日(金)

ねりんピック鹿児島2008

リッピングバス運行開始

7月5日(土)

★かごしま移住セミナーin東京

7月7日(月)

★企業等の農業参入相談窓口設置

7月15日(火)

★高齢者事故防止のための

「つけてますか?」運動街頭キャンペーン

7月17日(木)～8月3日(日)

「第29回霧島国際音楽祭」ボヘミアの風～中央ヨーロッパ～

7月20日(日)

★心でつなぐ「あんしん志布志・大崎」フェスタ

7月20日(日)～8月10日(日)

★日仏交流150年、田中一村生誕100年記念

「日仏交流シンポジウム」日本・フランス交流美術展」

7月26日(土)

大河ドラマ「篤姫」トークショー

7月26日(土)・27日(日)

★防災・お天気フェア

7月28日(月)

★伊藤知事2期目スタート

8月6日(水)

福祉・保健医療職場就職ガイダンス

8月12日(火)

Uターン「かごしま」&県内就職合同面接会

8月16日(土)

人権フェスタ2008 in 鹿屋

6月25日(水)

「平成の名水百選」認定書交付式

環境省が選定した「平成の名水百選」の認定書交付式が東京都内で行われた。名水に選ばれた湧水のある4市町の長などが出席し、鴨下一郎環境大臣から認定書の交付を受けた。



「平成の名水百選」は、7月に開催された環境問題が主要議題の「北海道洞爺湖サミット」にちなみ、水環境保全の一層の推進を図るため選定されたもので、県内からは甲突池(鹿児島市)、唐船峡(京田市)、湧水(指宿市)、普現堂湧水源(志布志市)、ジッキョヌホー(知名町)の4カ所が選ばれた。



ジッキョヌホー

7月5日(土)

かごしま移住セミナーin東京

東京都中央区のふるさと暮らし情報センターにおいて、本県に移住を希望する首都圏在住者を対象に、「本物。鹿児島県」の魅力を伝える「かごしま移住セミナーin東京」を県として初めて開催した。

セミナーには、約40人の参加があり、奈良迫県観光プロデューサーが「任んで良し、訪れて良し鹿児島の魅力」と題して講演を行い、薩摩川内市、霧島市、屋久島のNPO法人が地域のPRや移住促進施策、生活環境などを説明したほか、就業や就農などの個別相談にも応じた。



7月7日(月)

企業等の農業参入 相談窓口設置

県では最近、増加している企業等の農業参入の相談に因應するため、「鹿児島県企業等農業参入相談窓口」を本庁経営技術課と各地域振興局・支庁の農政普及担当課の計16カ所に設置した。窓口設置に合わせ作成した「企業等の農業参入ガイドブック」を活用し、参入方法や支援制



度などの情報提供を行うことで、企業等の農業参入を促進し、耕作放棄地解消や雇用創出など地域経済の活性化につなげることをしている。

なお、開設月の7月だけで、相談件数が20件近くあり、関心が高い。



7月15日(火)

高齢者事故防止のための 「つけてますか？」 運動街頭キャンペーン

県では、高齢者交通事故防止対策として「夜光反射材をつけてますか?」「夕暮れ時は車のライトをつけてますか?」「もみじマークをつけてますか?」の3つをキャッチフレーズとする「つけてますか?」運動を展開している。7月15日の高齢者交通安全の日には、県交通安全県民運動推進協議会メンバーが、鹿児島市の金生町アーケードにおいて街頭キャンペーンを実施し、通行人に対して夜光反射材の着用などを呼びかけた。



7月20日(日)

心でつながる ”あんしん志布志・大崎”フェスタ

犯罪や交通事故・災害などのない「安心・安全なまちづくり」を地域住民と一緒に盛り上げ、より一層の「住みよい地域社会づくり」に取り組むことを目的に「心でつながる、あんしん志布志・大崎フェスタ」が、志布志警察署と隣の大浜緑地公園で開催された。

当日は、テロ対処訓練や県警音楽隊の「ふれあいコンサート」、地域住民による特産品展示、ちびっ子免許証作成などがあり、約7千人の参加者がさまざまな催しを通して安全意識を高めた。



7月20日(日)～8月10日(日)

日仏交流150年、田中一村生誕100年記念
「日仏交流シンポジウム」
「日本・フランス交流美術展」

今年、日本・フランス交流150年と田中一村生誕100年を迎えるにあたり、国際イベントとして「日仏交流シンポジウム」と「日本・フランス交流美術展」を奄美パークで開催した。



7月20日の日仏交流シンポジウムでは、パリ日本文化会館初代館長の磯村尚徳氏による記念講演が行われ、日本のアニメや漫画がフランスに強い影響を与え、料理や芸術などは日本人がフランスから影響を受けていることを指摘された。その後、フランスと日本の芸術家をパネリストに「フランス人から見た田中一村芸術」と題してシンポジウムを行った。



美術展では、7月20日から8月10日まで、フランス側11名、日本側35名による合計64点の作品展示を行い、大勢の入場者が観覧した。

7月26日(土)・27日(日)

防災・お天気フェア

県と鹿児島地方気象台などの共催で、防災お天気フェアを開催した。始良町にある県防災研修センターには、2日間で約1200人の来場者があった。



長崎大水害で記録した1時間187ミリの降雨体験や消防車・救急車への体験試乗、鹿児島地方気象台による、雲・竜巻を発生させるお天気実験や火山・台風についてのお天気教室があり、参加した子どもたちは楽しみながら、防災の知識を深めていた。



7月28日(月)

伊藤知事2期目スタート

7月28日に、伊藤知事の2期目がスタートした。

知事は、「新たな未来への挑戦」をスローガンに、2期目の課題として、「大胆改革の継続」と「子どもからお年寄りまですべての県民にとって優しく温もりのある社会の構築」を掲げている。

今後4年間は、「環境」、「食料」、「医療・福祉」に重点を置きつつ、21世紀にふさわしい「力みながらかごしま」、「日本一のくらい先進県」の実現に向けて、県民の方々と力を合わせて、各種の取り組みを行っていくこととしている。

